

## 市内の高校の放送局から取材を受けました

西町地区には、道内初のプロサッカーチーム「コンサドーレ札幌」の練習場があります。この地域の特徴を生かして“魅力あふれるまちづくり”を目指した取り組みが行われております。

8月26日(木)、札幌北高等学校放送局の生徒さんから、「プロスポーツと地域振興」をテーマに取材を受けました。チームを支える立場としての想いをお聞きしたいとのことでした。

するどい質問や、真剣なまなざしに、思わず時間を忘れてお話をさせていただきました。

これまでの取組みを紹介します。

- 北5条手稲通(旧国道5号線)に「西町・コンサ通り」という愛称をつけ、『西町・コンサ通りまちづくり』実行委員会を設立
- 少年サッカー教室を開催
- 交通安全を願い横断幕を設置
- 「コンサドーレ札幌」応援バスツアー
- 「コンサドーレ札幌」応援CDの制作
- コンサカラーの旗、のぼりの作成 など



📷 まちセン事務室内での取材風景

## コンサドーレ札幌の選手が子どもたちを熱血指導！

10月17日(日)、宮の沢白い恋人サッカー場で、西区内のサッカー少年団を対象に、コンサドーレ札幌の選手らによるサッカー教室が行われました。

未来のJリーガーをめざす小学生に、プロ選手が直接指導することで、地域の絆を深め、コンサドーレ札幌に愛着を持ってもらおうと開催されたもの。

この日、同サッカー場の天然芝グラウンドに集まったのは、西区内のサッカー少年団8チームに所属する75人の小学生。高原(GK)、西嶋(DF)、藤山(DF)、岡本(MF)、上里(MF)、高木(MF)の6選手と、スクールコーチが指導にあたりました。

選手らは時折冗談などを交えたり、面白おかしくプレーを解説したりして児童らを笑わせるなど、約1時間にわたってのサッカー教室は真剣ながらも和やかな雰囲気で行われました。

最後に藤山選手から「いつでもグラウンドに遊びに来て選手に声を掛けてください。また一緒にサッカーやりましょう」とあいさつがあり、教室は終了。児童らはみんな名残惜しそうな表情を浮かべていました。



### 【まちセン・スタッフの一言】

天然芝でのプレーや、プロ選手からの直接指導など、貴重な経験です。これからも子ども達の夢を少しでも応援できたらうれしいですね。

## こころ・ふれあい交流会で学生落語！

10月26日(火)、10月29日(金)の両日、西野中央会館で「こころ・ふれあい交流会」が開催され、地域のお年寄りらが大勢参加されました。

これは、高齢者を対象に演芸を觀賞したり食事を一緒にしたりする場を提供することで、心身共にリフレッシュしてもらい、介護予防にも役立ててもらおうと、西町地区福祉のまち推進センターが主催したものです。

まず、町内会長など地域住民が自ら出演して、認知症がテーマの演劇「和(なご)み家族物語」を披露しました。その後は、手作りでのおもてなし昼食会、ゲーム大会、そして北海道大学落語研究会(北大落研)による寄席で大いに笑いました。

その後、全員でソーラン節を合唱、最後に、みんなで輪になり盆踊りで盛り上がりました。

交流会終了後は、北大落研の大学生2人も加わり、地域でボランティア活動を進めていく上での課題などを話し合い、「若者にもぜひ地域行事に参加してほしい」との要望も地域の方からでていました。



### 【まちセン所長からの一言】

学生さんへ 落語はたいへん好評でした。今度は地域行事にもボランティアとして、ぜひご参加を！

## 男和の会（男だけのサロン）でそば打ち体験！

11月5日(金)、西区民センターで主に男性高齢者を対象としたそば打ち体験が行われました。

これは、「地域での集まりはどことも女性がなくて、男性は参加しづらい」との男性高齢者の声を受け、西町地区福祉のまち推進センターが開催している男性だけの交流サロン「男和(だんわ)の会」の一環として行われたもの。

この日は、西町地区に住む男性を中心に約20人が参加。講師の「体温を伝えないように、指先でそば粉をかくはんして」「生地表面につやが出るまでよくねて」などのアドバイスを受け、参加者らは楽しそうに談笑しながらそばを打っていました。



### 【まちセン所長からの一言】

男和の会（男だけのサロン）は、寄付でまちづくりを応援する『さぼ一とほっと基金（札幌市）』からの助成を受けて運営されております。

『男和の会』では、このほかにも

- 囲碁・将棋
- ギョウザ作り
- 脳トレゲーム など行っています。

通常は毎月第1水曜日に開催。地域の方なら誰でも参加できます。